

消費者に最良のムダ毛ケアを提供するために

「電気脱毛と光脱毛の医学的・現実的比較」

権威ある世界最大のアメリカ皮膚科学会でも発表

電気脱毛士の国際資格CPEを持つ
ている技術者の継続教育「国際電気脱
毛セミナー2012」が、日本スキンエ
ステティック協会主催で本年も八月二
十八日、二十九日の二日間、東京・アイ
ビーホールにおいて開催された。

そのセミナーのスペシャリストピカ
ソニ医学博士。彼女は、アメリカのサウ
スカロライナで皮膚科医院を開業しつ
つ、「電気脱毛と光脱毛の比較研究」の
論文を発表。その研究成果は、二〇一
一年、世界最大規模の皮膚科学会である
AAD(アメリカ皮膚科学会)でも発表
され、注目を浴びた。

今回の国際電気脱毛セミナーでも、
「電気脱毛と光脱毛の比較研究」をテー
マに講演し、日本の電気脱毛技術者た
ちに、改めて電気脱毛の有効性と優位
性を再認識させる内容であった。

その概要を紹介すると、「電気脱毛は、
アメリカのFDA(日本の厚生労働省
にあたる)が認めた唯一の永久脱毛法、
一本一本処理する為時間がかなり、多
少の痛みを伴うが、皮膚が一番負担を
かけずに有効な脱毛ができる。どんな
皮膚の色の人でも毛の色も問わずに施術
できる。眉や顔の脱毛にも適している。
目を傷めることもない。そしてコストが

かからない。しかし、技術者になる為の
勉強と訓練を必要とする」。

「レーザー、IPL等の光脱毛は、ま
とめて複数の処理はできるが永久効果
がない。黒い肌や日焼けの肌、ブロンズ、
赤毛、白い毛、産毛に適さない。眉や目
の周りの脱毛に危険が伴う。痛みが少
なく手軽にできるが、コストがかかる」
というものであった。これなら、もう一
度電気脱毛のよさを見なおし、エステ
ティックサロンで活用したくなる。



「国際電気脱毛セミナー2012」会場の様子

美容電気脱毛と美容ライト脱毛のそれぞれの 利点・特徴を消費者に正しく伝えることが大切

レスリー・ディビッドソン医学博士に特別インタビュー



レスリー・ディビッドソン医師

Q: 電気脱毛と光脱毛の研究をはじめのきっかけは?

レスリー博士: 「友人がCPEを持っていて、電気脱毛士で、私自身が電気脱毛を受けて、永久脱毛となって満足したのが研究するきっかけです。その脱毛士はたいへん人気があり、なかなか予約が取れません」。

Q: AAD(アメリカ皮膚科学会)で研究発表されたそうですが、反響はいかがでしたか?
レスリー博士: 「電気脱毛と光脱毛を比較した研究は少ないので、大変注目されました。双方に利点と欠点がありますが、FDAが永久脱毛法として唯一認定しているのは電気脱毛で、レーザーやIPLなどの光脱毛は、毛を少なくする減毛効果しかうたうことができせん」。

Q: アメリカで光脱毛を受ける料金はいくらですか?

レスリー博士: 「アメリカでは日本のようにサロンで使える低いパワーの光脱毛器はないと思うので料金についてはあくまでも医療機関においての光脱毛の料金ですが、一回約五〇〇ドルかかり、かなり高額です。そして繰り返し施術を受ける必要があります。電気脱毛は一回約五〇〇ドルですが、回数と時間をかけて施術を受けなければなりません」。

Q: 現在アメリカには電気脱毛士が何人ぐらいいますか?

レスリー博士: 「約八四〇〇〇名の電気脱毛士がいます。カナダは約四〇〇〇名です。日本は、三〇〇〇〜四〇〇〇〇名美容電気脱毛士がいて、その内、CPEの資格保持者が五百十二名だと聞きました」。

Q: アメリカでのムダ毛処理の需要をどう思いますか?

レスリー博士: 「ムダ毛処理に関する美意識は世界共通です。光脱毛は広範囲のムダ毛をスピーディに処理できますが、永久脱毛ではありません。電気脱毛は処理時間が長かかりますが永久脱毛です。クライアントがその目的によって選ぶことが出来るようにそれぞれの正しい情報を伝えるべきだと思います」。